

## 第1回策定委員会\_中心市街地将来ビジョン骨子案(たたき台)

## R051004\_建設部都市計画課・商工観光部商工課・鶴岡商工会議所

総合計画			ありたい姿・まちづくりの方針 (明るい未来の提示)	問題 (ありたい姿と現状との 差分)	課題 (問題解決のための取組)	導入機能【ハード】	導入機能【ソフト】
基本構想	基本計画	対策					
1 暮らしと防 災	(6) 環境の保全・ 美化活動の推 進	ウ 地域の生活環境の保全と 美化運動の推進	<p>楽しいコト(体験)とトキ(共感) に出会える城下のまち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 便利で快適なサービス、良好な居住環境、趣味・娯楽の機会など、多くのメリットがある。</li> <li>■ 食文化を伝える美味しい食材を使った料理やお酒を嗜む多くの店舗やイベントがある。</li> <li>■ 休日の過ごし方の選択肢として居心地の良い中心市街地におでかけしたくなる。</li> <li>■ 適度な距離を保ったコミュニティが形成する安全、安心、互恵の暮らしができる。</li> </ul>	<p>公共施設の老朽化に関して、施設更新の必要性や優先順位について明確な共通認識が不足している。</p> <p>子どもや高齢者、市民の誰もが自由に移動できる優しい社会へのニーズに対応が追いついていない。</p>	<p>市民・事業者・行政による施設更新の必要性や優先順位についての共通認識を形成し、まちの個性を生み出す具体的な施設整備が必要。</p> <p>街中ほど利便性が高い地域公共交通の再構築と安全で快適な歩行者・自転車空間の整備、交通結節点となるまとまった駐車場が必要。</p>	<p>[施設]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ まちの個性を生み出す公共施設整備(中心市街地への移転、複合集約化、官民連携手法)</li> <li>◆ まちなかイベント広場のリノベーション</li> <li>◆ コンテナ店舗によるチャレンジショップ群+イベント広場の整備</li> <li>◆ 学生向け・子育て世代向け集合住宅+テナントの整備</li> <li>◆ 民間施設+マンション+垂直避難可能な立体駐車場の整備</li> </ul>	<p>[仕組]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 官民出資によるエリアマネジメント法人の設立</li> <li>◇ 多言語対応の観光ガイド育成</li> <li>◇ WebサイトやSNSを活用した観光情報発信の強化</li> </ul> <p>[施設]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 高校生向けフリースペース、カルチャースクール等の拡充</li> <li>◇ 既存店舗や文化財・歴史的建物を活用した休憩・滞在機能の充実</li> <li>◇ 児童の遊び場機能の充実</li> <li>◇ 案内サインの多言語表記</li> </ul>
5 商工と観光	(2) 明るく元気な 地域の活力の 源となるまち の賑わいの創 出	ア 中心市街地における多様 な商業・サービス機能の立 地促進 イ 地域に根差した魅力ある 商店・商店街づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ここで暮らすことを他の人に薦めたい。</li> <li>■ お薦めしたい店や場所がたくさんある。</li> <li>■ 日用品、食料品など日々必要なものは簡単に買い求められることができ、短い距離の移動で用事が足りる。</li> <li>■ DXによってリモートワーク、趣味、学び等を快適に行うことができる施設があちこちにある。</li> <li>■ 鶴岡公園周辺の歴史的建物などを中心に、歩きながら半日くらいは十分に観光が楽しめる。</li> </ul>	<p>まちなかに暮らす大きなメリットやステータスが不足しており、活用できない空き家が増加し続けている。</p>	<p>魅力の源泉となる文化・芸術・賑わい等のイベントの推進とともに、居心地が良く多様な体験や交流の機会を支える空間整備が必要。</p> <p>元気な個店がまちを引っ張っていく新たな商業振興策が必要。</p> <p>居住地として選ばれる質の高い環境整備、良好な景観保全が必要。</p>	<p>[交通]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 市内循環バスの乗り換え拠点+テナント+立体駐車場の整備</li> <li>◆ ストリートの1車線化整備</li> <li>◆ ストリートの恒常的な歩行者天国化</li> </ul>	<p>[交通]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 市内循環バスの高頻度化、子ども無料化、電気自動車化、自動運転への移行</li> <li>◇ バス停のリノベーションによる待合い快適性の改善</li> <li>◇ JRとバスとの乗り換え拠点機能の充実</li> <li>◇ 公共駐車場の一定時間以上の有料化による適正管理</li> </ul> <p>[制度]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 新築、改築、改修、隣地買増し等による新規居住・継続居住に対する補助金の創設</li> <li>◇ 業種を絞った出店・開業支援補助金の創設</li> <li>◇ 通りに面した建物の形態意匠に統一感を持たせ、一貫性のある土地利用を担保するための建築協定や地区計画の導入</li> <li>◇ 高度地区の特例許可の対象拡大、手続の簡素化</li> </ul>
6 社会の基盤	(1) 快適な都市環 境の形成	ア コンパクトな市街地形成 と地域とのネットワー クの構築 イ 賑わいのある中心市街地 の形成		<p>中心市街地の名所を巡りたくなる周遊・滞在の仕掛けが少なく、気軽に休憩できる所や、インバウンド受入れ体制が不十分である。</p>	<p>中心市街地の名所や史跡などに関連したストーリーやエピソードの掘り起こしによる観光動線の魅力化と、休憩・滞在機能の拡充が必要。</p> <p>インバウンド観光客の受入れ対策の充実が必要。</p>		
	(2) 交流・連携の 推進と基盤の 整備	オ 安全・安心な市道整備と管 理 カ 公共交通ネットワークの 形成					

※導入機能については、関係者協議、施設概要・規模、事業用地、スケジュール、財源等の精査を行い、優先順位を付けて、実現可能性を高めていくことが必要。